



【医療安全推進週間イベント】

令和元年11月7日

令和元年11月6日（水）・7日（木）自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、病院本館1Fエントランスにおいて、医療安全推進週間に伴って医師、看護師等による「手洗いチェック」「転倒チェック・腰痛予防体操」「お薬相談」「医療講演会」の4つのイベントを開催した。

「手洗いチェック」では、来場者にクリームを手に塗布して手洗いした後、ライトに手をかざして青く光る洗い残し部分を確認してもらい、看護師が正しい洗い方を指導し、「転倒チェック・腰痛予防体操」では、理学療法士が正しい姿勢を促すテストを行い、「お薬相談」では、薬剤師が服薬している薬の飲み方やウォーキングなど生活習慣の改善についてアドバイスを行い、「医療講演会」では医師（副院長 菊池将補）が、「日本人の健康に関する現状」「生活習慣病の診断と治療」「高齢になってからの注意点」など生活習慣病の予防について講演し、来場者は、生活習慣病の怖さを再認識していた。2日間の来場者は55名であり、「イベントがあったらまた参加したい」とアンケートの回答が9割を超えるなど、医療安全に関する推進及び自衛隊札幌病院の周知を図ることができた。また、院内において医療安全ポスター展を行い、院内職員に対し、事故防止や医療安全の重要性について意識の高揚を図った。



手洗いの指導を行う看護師



お薬相談を受ける薬剤師



転倒テストをする理学療法士



1Fエントランスに集まる来場者



ポスター展



ポスター展



医師(副院長 菊池将補)による医療講演会